生活環境

生活環境整備では、五百三十三億七千九百万円（予算全体の三四％）を投じ、公共下水道の整備、道路の舗装・改良、市営住宅の建設、公園や緑地の整備などの市民生活を快適にする施設や、千歳大橋の架設、駅南開発、大学南土地区画整理などの都市基盤整備を行い、住みよい街づくりを進めていきます。

公共下水道 処理区域の整備を推進

白山排水区 7月から開始

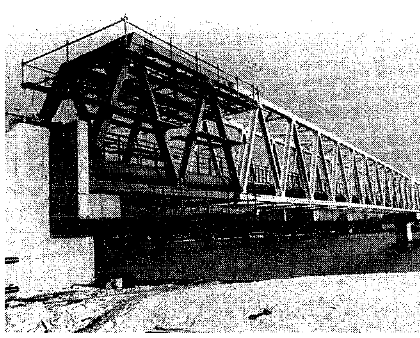
公共下水道は四十八億四千万円を投入し、中部下水処理場施設と幹線管きょの築造、処理開始関連区域の整備促進、浸水対策などを行います。普及率は五十九年度末までに二五・五％になる見込みです。

中部処理区の整備では、関屋ポンプ場、関屋下水道橋上部工の築造を行います。また引き続き、白山、関屋、下所島の各排水区を整備し、七月に白山排水区の一部、五十九年度末までに下所島排水区の残りを処理開始します。東部処理区は、石山、河渡、太平町の各処理分区で整備を進めます。

幹線管きょ築造として、坂井輪（大堀）、神道寺、新潟4－1号（下木戸）幹線など、二千四百㍍を整備します。

排水不良地区の解消を図る都市排水応急対策事業に、十億一千六百万円を投入し、上新栄町、大学南、鳥屋野地区など八十七カ所、約一万七千㍍を整備します。

また、私道等排水設備費、私設排水路等整備費の助成率を、それぞれ二分の一から三分の二に引き上げます。



白山排水区の汚水は、白山下水道橋を通って信濃川を渡り、中部下水処理場で処理されます

市営住宅

着工は 128戸 完成は 86戸

景気浮揚を兼ね、十六億五千万円を投入して市営住宅を建設します。

新年度着工は百二十八戸。新藤見町団地に五階建て一棟第一種四十戸（完成予定五十九年十一月）、桃山町団地に三階建て一棟第一種六戸（同六十年三月）と五階建て一棟第二種五十戸（同六十年七月）、秋葉通団地に四階建て一棟第一種十六戸第二種十六戸（同六十年七月）を建設。

新年度完成は八十六戸。内訳は桃山町団地五階建て一棟第二種四十戸（同五十九年七月）と三階建て一棟第一種六戸（同六十年三月）、新藤見町団地五階建て一棟第一種四十戸（同五十九年十一月）。

稲荷町にも 127戸を建設

このほかに六十年五月完成を目指し、稲荷町団地に九階建て一棟第一種七十九戸、第二種四十八戸（うち五戸は視力障害者向け）を三カ年継続で建設しています。

住宅改善事業では、物見山団地に浴室（六戸）を増築します。これで、すべての市営住宅に浴室が完備します。

環境改善事業では、藤見町団地で不要になった共同浴場を集会所に改造します。

大規模修繕工事では、二億三千万円で曽野木、汐見台、藤見町団地の外壁漏水補修および吹き替え工事（百戸）、曽野木、藤見町、船江町団地のアルミサッシ窓わくの取り替え工事（三百四十二戸）などを行います。

私道整備は 助成率½に

道路整備には約三十三億五千万円を投入。道路改良事業は十五億三千万円で東港2号線、長潟7号線、一日市インター、上越新幹線側道用地など延べ九㌔㍍の整備と用地買収を行います。東港2号線は秋に完成予定。長潟7号線は、新年度から五カ年で、県道曽野木一日市線から大規模農道までの延長五百六十四㍍を幅十二㍍に広げます。

道路舗装事業は七億二千万円で女池など約三十五㌔㍍を実施します。舗装率は五十九年度末で六七％（市道延長比）となる見込みです。

道路排水側溝事業は二億六千万円で坂井など約十二㌔㍍を行います。

自治会などが行う私道整備に対する助成率を、三分の一から二分の一に引き上げます。

通園通学路整備などを含む交通安全施設等整備事業は、一億六千万円で歩道新設二㌔㍍、ガードレール設置三・三㌔㍍などを行います。自転車道は、河渡船江町線で三百㍍、開新橋下流の西川左岸で百七十㍍整備します。

橋りょう整備は二億円を投入。秋までに濁川歩道橋、鐘木橋、渚橋（歩道橋）が完成し、小瀬歩道橋（小瀬小学校脇の西川に架設）を新年度に新設。

西大畑公園は 一部オープン

阿賀野川河川公園は、白新線鉄橋付近の未整備地を、寺尾中央公園は照明、水道、正面入口の園路を整備します。西大畑公園は、六十年秋の美術館オープンに合わせ、五十九年度末に一部供用開始予定。

また身障者用として、青山水道遊園正面入口にスロープを設け、車いすでも入れるようにします。

藤見町に 新公園

公園整備に、十一億一千万円を投入し、緑の街づくりを進めます。五十九年度末までに、市民一人当たりの公園面積は二・八五平方㍍、総面積は約百三十三㌶に達します。

職業訓練センター隣の藤見第二公園（一㌶）を新年度から六カ年継続で、新栗の木川緑地として月見橋から新幹線までの新栗ノ木川右岸（四百五十㍍）を五カ年で、それぞれ新たに整備していきます。

このほか、広通第二公園や小公園十八カ所、子供の遊び場二カ所を整備します。

西海岸の飛砂防止事業は、栄小学校裏手から海辺町にかけて防風垣延べ五千六百㍍、植栽（グミやハマニンニク）六千平方㍍を行います。

街路樹では、イチョウなど三百五十本を植えます。

新田焼却場 建設へ

老朽化した西清掃センターのごみ焼却場に替わる新田ごみ焼却場は、一日の処理能力三百六十㌧で、六十一年度完成予定。総事業費六十七億円というビッグプロジェクトです。本年度は二十五億九千五百万円を計上し、炉本体の基礎工事、焼却場の骨組工事などを行います。

昨年から整備を進めてきた第二赤塚ごみ埋め立て地は、開始に必要な整備を行い、新年度中に供用開始となります。

有害ごみの一つとして注目されている使用済み水銀乾電池については、ごみへの混入状況の実態調査を行います。

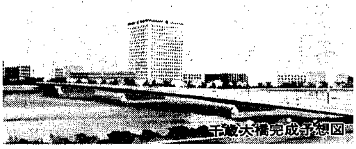
省資源、廃棄物の減量化を図るため北地区で取り組まれている空ビンリサイクルは、条件の整った地区から順次回収地区を広げます。

有機ハロゲンを分析 ―水道―

水道関係では、水質の安全性確保のため「全有機ハロゲン分析計」を購入します。これは、人体に悪影響があるといわれる有機ハロゲン化合物を分析する計器で、予算は七百六十万円。

新たに、赤水や漏水破裂の原因となっている老朽管の取り替え工事を七千万円をかけて行います。

都市基盤



千歳大橋完成予想図

千歳大橋 ―60年に暫定開通―

都市計画街路事業には、二十五億七千万円を投じ、千歳大橋、小針線、小張木関屋線、山の下東港線、出来島上木戸線、広小路通線、小針坂井線のほか、新たに寺尾小新線、五十嵐町線を整備していきます。

千歳大橋は十九億四千万円を投じ、けた、欄干（らんかん）、照明、取り付け道路築造などを行い、道路を含め六百八十一・五㍍（橋りょう部分は三百八十二・七㍍）、二車線で六十年暫定開通を目指します。

中山、竹尾、木戸地区から市中心部を結ぶ交通の混雑緩和のための出来島上木戸線には一億二千万円を投じ、早期供用開始を図ります。

新潟バイパス、北陸自動車道と小針、内野方面を結ぶ重要な小針線には一億二千三百万円を投じ、用地買収、道路築造、電鉄との立体交差築造工事を進めます。

山の下、大形、松浜から市中心部への交通緩和のための山の下東港線には、千八百万円を投じ、用地買収、道路築造を行います。

駅南開発 再開発ビルは来春オープン

新潟市の副都市づくりを目ざす駅南開発には、九十七億四千万円余りを投入し、事業の促進を図ります。

第一地区では、ホテル、店舗、事務所の入る再開発ビル三棟（A_1、A_2、C_1）の建設に八十七億四千八百万円、A_2棟とC_1棟を結ぶ地下横断歩道に一億四千九百万円を投じ、来春のオープンに備えます。

南口広場では、歩道整備、植栽工事のほか、雨や雪よけの屋根（幅二㍍）を八十㍍に渡って設置します。

このほか、六十㍍修景道路や区画道路の整備、百五十台規模の自転車駐車場の建設などを行います。西側連絡通路は、駅構内のくい打ちに着手。

再開発ビル管理会社である新潟駅南開発（株）への出資金として二億二千四百万円を計上。また、第一地区再開発ビル出店資金貸付金として三億三千五百万円を新たに計上し、再開発ビルに出店する市内小売業者に対し、保証金、敷金、内装費に限り、資金貸し付けを行います。限度額は一店三千万円で、利率年六・四％。一定期間据え置きの十年償還。

大学南土地区画整理事業 造成に着手

新潟大学南側の生活環境を整備し、快適な学園都市づくりを目指す大学南土地区画整理事業は、新年度に一億七千四百万円で大学南線の擁壁築造約百二十㍍と宅地整地約千五百平方㍍を行います。

また、新年度に設立予定の太夫浜土地区画整理組合に対して助成金を交付します。

西港周辺地域整備 計画調査を実施

国、県、市の三者で本年度から実施している新潟港周辺地域整備調査を補完するため、市単独で「新潟西港周辺地域整備計画調査」を行います。これは、西港周辺地域の土地利用および万代橋下流橋を含む交通施設計画などの基になるデータを整えるものです。

市街化区域線引き見直しは、原案を作成し、PR図面などで市民に広報し、意見を求める機会を作りながら、五十九年度中に都市計画の決定手続きを完了させる予定です。

市の中心部に集中する交通の効率的な処理と安全を図ることを目的とした総合都市交通施設整備計画調査を、国・県・市の共同事業で、本年に引き続いて実施します。

市民サービス

計量検査室を新設

「はかり」の正確さを計る計量検査室を川岸町に建設します。木造平屋建て百十平方㍍で、基準器室、商品テスト室、計量機検査室が入ります。これに合わせ、大型はかり用の一㌧分銅なども購入します。

防犯灯設置費 電気料補助金アップ

自治会が自主的に設置、維持管理している防犯灯に対する設置費、電気料の補助をそれぞれ七千円から八千円（設置費の約半分）に、九百円から千百円に引き上げ、補助枠も広げます。

住居表示は新たに天神尾・下所島・米山地区、姥ケ山・長潟地区、鳥屋野・網川原・出来島地区で実施します。

婦人の窓口が昨年十月に生活課に設けられましたが、今年は婦人団体との懇談や他都市の調査を行い、婦人行政の推進に当たる第一歩とします。

すっかりおなじみになった「市政懇談会」「動く市政教室」また、市政、民事、法律の各相談サービスも引き続き行います。

国際交流も

ハルピン市との友好都市提携五周年、ガルベストン市との姉妹都市提携二十周年を記念して、国際友好会館で両市の展示会を、また両市においても新潟展を開催します。また、ハバロフスク市も合わせ、三市と使節団を交換します。